社協報
にこりん
2015年
盛夏号
7月15日 発行
No.134

今月のにこりん

① 平成26年度事業報告・決算報告 ……2～3
② 支え合いマップづくり懇談会 ……4～5
③ いわゆりだより ……6
④ こんにちはヘルパーです ……7
⑤ ケアマネにゅーす ……7
⑥ PHOTOにこりん ……8
⑦ ボランティア情報 ……9
⑧ よろず伝言板 ……10

７月５日、南陽地区で地区の納涼祭が開催されました。今回は親睦を図る機会として、マレットゴルフで身体を動かした後、焼き肉会を行いました。

マレットゴルフの表彰式では、豪華景品各賞が贈呈され会場を盛り上げた後、総代の乾杯で元気いっぱい焼き肉会が開会。

中国人留学生のみなさんもお誘いし、総勢約５０名が鉄板を囲みながら和気藹々とした雰囲気で話もはずみ、和やかに交流することができました。

社会福祉法人
中川村社会福祉協議会

社協報にこりんには、赤い羽根共同募金配分金と社協会費が使われています

平成26年度　事業報告・決算報告

平成26年度事業報告と決算が5月26日開催の理事会、評議員会で原案どおり承認されました。事業の特徴、決算内容について概要を紹介します。

平成26年度を振り返って

(1) お楽しみ弁当利用者が大きく増えました。

一人暮らし高齢者の食の楽しみと安否確認のため、月1回ボランティアの方による手作りのお弁当をお届けしています。平成26年度の延べ利用者数は194名（月平均16名）で対前年比106名の増となりました。

(2) リフレッシュと交流の機会として介護者交流会を開催。

介護者のみなさんの心身のリフレッシュと交流の機会として、介護者交流会を3回開催しました。

延べ40名の介護者が参加し、レクリエーション、苔玉づくり、ハーブ料理づくりなどで楽しく交流することができました。

(3) 第19回中川ふれあい福祉広場が開催されました。

10月12日、子供からお年寄りまで集い、ふれあい交流する中から共に生きる福祉の村づくりについて考える機会とすることを目的に、第19回中川ふれあい福祉広場が開催されました。

57団体285名のボランティアのみなさんのご協力をいただき、保育園児から小学生、中学生、高齢者、障がい者、福祉施設、作業所のみなさんが一同に会してふれあい、交流を深めました。

新たな催しとして、車椅子ダンス、親愛の里松川藤和也演歌教室のみなさんの発表、景品ゲットビンゴゲームが行われ、会場を盛り上げました。

(4) 一般浴リフトを更新しました。

平成27年2月、歩いてお風呂に入ることが難しい方がリフトに乗って入浴することができる、いわゆり荘の一般浴リフト装置を更新しました。（導入費用79万9千円）

平成15年に導入した機械を10年ぶりに更新したもので、車椅子からリフト専用のイスに乗り換えイスのまま浴槽に入ることができ、車椅子に乗っている方にも気持ち良く大浴槽に入浴していただいています。

(5) 日本財団の補助により福祉車輌を導入しました。

平成27年2月、日本財団の補助を受けて福祉車輌ハイゼットスローパーを導入しました。（導入費用141万3千円。内、補助金額87万円）

車輌後部のドアを開けてスロープを引き出して車椅子を乗せるスロープ式福祉車輌で、室内も広くリクライニング式の大型車椅子でもゆったりと乗ることができます。

この車輌導入により福祉車輌は11台となりました。いわゆり荘や福祉輸送の送迎のほか、車輌貸し出しもしています。入院、通院、外出などにご利用いただけます。

(6)リサイクルを考える会から電動ベッドが寄贈されました。

平成26年12月、リサイクルを考える会から電動ベッドと体位交換クッションが寄贈されました。（寄贈物品額32万1千円）

リサイクルを考える会では、布団の再生をして福祉施設等に寄贈する活動のほか、再生して作った座布団をふれあい福祉広場等で売る活動をしています。

この寄贈によりいわゆり荘の電動ベッドは4台となりました。

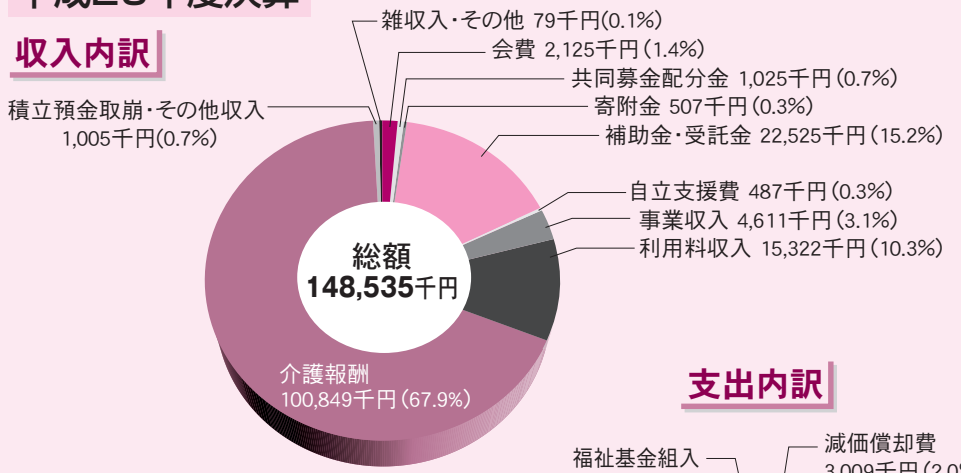
平成26年度決算報告

平成26年度決算は、収入総額1億4、853万5千円、支出総額1億4、860万3千円で、6万8千円の赤字決算となりました。

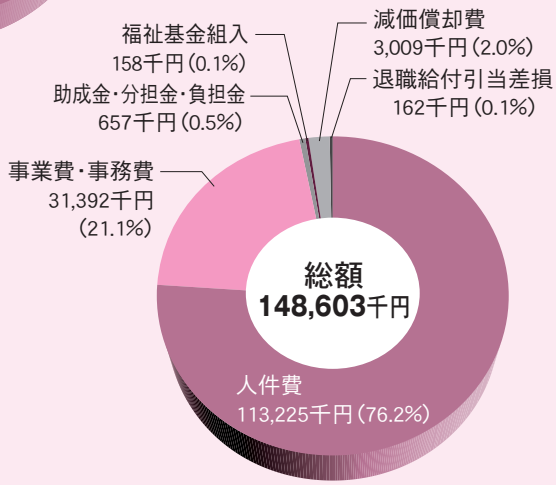
収入については、対前年比1、116万7千円、7％の減となりました。収入減の主な要因は、利用者減に伴い介護報酬収入が対前年比718万1千円減ったことによるものです。

平成26年度決算

収入内訳



支出内訳



支出総額については、対前年比1、085万円4千円、7％の減となりましたが、人件費関係では426万2千円の増、事業費・事務費では111万8千円の増（いずれも対前年比）となりました。車輌購入やリフト浴の更新、施設修繕によるものです。

日頃からの要支援者支援について考える。支え合いマップづくり懇談会から

地区内の避難行動要支援者、支援者、災害時に使える社会資源などの情報を把握しておくことで迅速な対応と避難支援につなげること。要支援者の状況を把握し、日頃から隣近所や地区でどんな手助けができるか考えることを目的に、今年も全地区で支え合いマップづくり懇談会を実施しています。今回は村交通防災係から自主防災組織についての説明、村保健福祉課から高齢者の状況と支え合いについての説明もありました。懇談会で出された意見と併せて紹介します。

自主防災組織と災害時の対応について

自主防災組織は、住民が自分達の地域は自分達で守るという意識に基づき、地区で自主的に結成された組織です。

村内の各地区に設置され、災害発生時に自助・共助の精神により、消火活動、救出救護活動、避難活動を行います。

平成26年11月22日に発生した、長野県北部神城断層地震では、深夜の大規模地震にも関わらず、自主防災組織が機能していたこと、支え合いマップを活用した安否確認、避難誘導、救助活動を行ったことにより、死者をだすことなく人的被害を最小限に食い止めることができました。

■自主防災組織の基本的な体制

- 会長（地区総代）
  - 副会長（地区副総代）
    - 本部班：本部設置、村との情報連絡、被害状況とりまとめ、避難所の開設、防災無線放送
    - 消火救助班：火災の初期防御、水防その他災害防御、負傷者の救出・救助
    - 避難誘導班：避難誘導、独居老人・障がい者など自力避難困難な人の避難に関すること
    - 救護衛生班：負傷者の救護、炊き出し及び緊急食料確保、配給、災害時の各種防疫

高齢者の状況と支え合いについて

災害時に「避難して」来た後、避難所で「過ごす」までが避難行動です。

避難行動要支援者として登録申請された人以外にも、意思疎通が難しくなってきた軽度な認知症の人なども要支援者となり得ます。

台帳やマップに載らない要支援者がいないか注意して見ることが大切となります。

10年後には団塊の世代が75歳以上となり、介護保険利用者が大きく増えることが予想されます。しかしこのすべてを介護保険財政で賄うことは困難であり、国では軽度な要支援者を介護保険給付サービスから外していくこととなりました。

軽度な要支援者に必要なものは特別な介護ではなく、日常生活のちょっとした手助けや居場所づくり、運動などがあります。

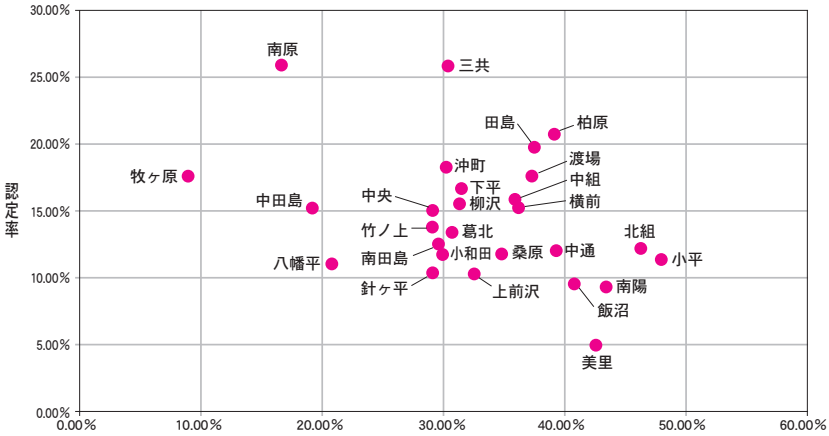
高齢者が増えると言っても、およそ8割は元気な高齢者であることから、これからは元気な高齢者が虚弱な高齢者を支え合う互助のしくみづくりが必要となります。

互助のしくみは無償でなくてもよいので、手助けする側とされる側が気兼ねなくできるしくみが地区の中でできればと思います。

左記の表は、地区別高齢化率と要介護認定率で、高齢化率が高いことと要介護認定率は必ずしも一致しません。

地区別　高齢化率／要支援・要介護認定率

2015.6.1



要支援者と隣近所との関わりの様子

- 要支援者のお宅がたまり場になっていて、近所の人がお茶飲みに行っている。
- 足が悪くて回覧板を廻せないので大事なことはコピーして渡している。
- 道や畑で見かけたら声をかけるようにしている。
- 自分からは外に出られないので、回覧板を持って行ったときに会って話すようにしている。
- デイから帰って来たときに手を振って声をかけている。
- 近所のお友達が買い物に乗せて行ってあげている。お礼もしているようだ。
- 近所の人に頼みに来るので買い物に乗せて行ってあげている。
- お年寄りどうしでお茶会をしている。
- 玄関で呼んでも耳が遠くて分からないので、上がって行ってお話するようにしている。
- ゲートボール仲間で出席確認の声を掛け合っている。
- 滝戸住宅１階の要支援者に、２階にいる組長が日常的に訪ねて行くようにしている。
- 認知症の人が遠くへ向かって歩いていたので、声をかけて車に乗せてきた。生活圏外で見かけたら家族に連絡もらうようにした方がよい。

支援するのにどんな課題があるか

- デイに行っているようだが行き会わないのでどんな様子か分からない。
- 家にいるのかいないのか分からない人がいる。
- 身体が弱くなって家から出て来られなくなると近所の人とのお付き合いがなくなる。
- 平日昼間要介護の高齢者夫婦が二人だけになってしまう。中まで入って行くわけにもいかず外で見かけたら声をかけるようにしている。
- 住宅が一人暮らし高齢者の集まりになってきている。
- お手伝いできることはないか声をかけたが断られた。近所の人には気兼ねなのかも。

～懇談会で出た意見から～

- 一人暮らしのお宅に毎日行って話相手をしているお友達がいる。夕食も作っているようだ。
- 隣の人がゴミ出しを手伝っている。
- 回覧板がドアにかかったままの時、声をかけるようにしている。
- 一人の要支援者を中心に見守りネットワークができている。
- 回覧板を受け取ったり近所からお裾分けをもらうのをおばあさんの仕事にして、近所の人と行き会う機会をもつようにしている。
- ショートステイから帰って来たらエアコンがつくので分かる。夕方家族が帰ってきてから行き会いに行っている。
- 毎月常会をして隣組内の様子を把握している。
- 出かけて留守になるときは、隣の家に言っておくようにしている。
- 一人暮らしの人で自分からいろいろな人に助けを求めてきている。頼まれればすぐに対応する。
- 野菜やお総菜をあげたりもらったりしている。

今後地区や隣近所で具体的に何ができるか

- 認知症と思われる人がいる。見かけたら声をかけたり一緒に歩いたり家族の話を聴くことも支援になると思う。
- 近所の人に頼んでお金で解決できるしくみがあれば頼みやすいのでは。
- 一人暮らしのお宅の雪かきを隣組で対応できるようにする。
- 一人暮らしのお宅には組長が月１回位声かけをした方がよい。
- 一人暮らしのお宅が多いので集まってお茶会をしたらどうか。
- 自分が買い物にいくついでに買い物してくる。

いわゆりだより

～いわゆり荘の人気レクレーションを紹介します～

おいで！おいで！ゲーム

◎準備する物　・紅白ボール　・ひも付きの輪　・棒

②片側の人がボールに向かってひもの付いた輪を投げます。

①二列に向き合って座り、横半分の２チームに分かれます。

④輪にボールが入ったら、ひもを引いてボールを取ります。

③棒を持っている側の人は輪を引き寄せ、輪の中にボールを入れます。

ポイント!!

・力の差がある時はボールの数を調節すると接戦になり盛り上がります。

いきいきサロンなどで行ってみてはどうでしょうか!! 道具などの貸出も行います。お気軽にお問合せください。

⑤②から④の動作を繰り返し、早くボールが無くなったチームが勝ちになります。

中川村社協ヘルパーステーション

今回は食べ物を飲み込みやすく、姿勢を良くし茶碗や箸をしっかり持てるようにする体操です。

〇体操の前後には深呼吸をしましょう。

社協指定居宅介護支援事業所　ケアマネにゅ～す

【福祉用具紹介シリーズ②】〈スライディングシート〉

床ずれ防止の体位変換のために、様々な「スライディングシート」が販売されています。
介護する側・される側、共に楽に移動が出来るすぐれ物です。
スライディングシートとは、すべりやすい生地で出来たシートです。

ロングタイプとハーフサイズ、また筒状やシーツ状等がありますが、使用目的（寝返り、寝る位置の修正、移乗など）や対象者の体格、使える力により、使い分けて下さい。

シートの真ん中を腰の下から差し入れ反対側から引き出す方法

横向きに寝た状態で、シートに半分ずつ体を乗せる方法

枕の下に、小さく折ったシートを敷いて広げる方法

Photo にこりん

ある日の一こま　－グループホームかぞく－

利用者さん同士で畑の作物の話しで盛り上がっています。お題は胡瓜です。

プロの歌声に感激　－宅幼老所かつら－

かつらに、歌手の大沢桃子さんが来て下さいました。一段と磨きのかかった歌声にみなさん手拍子をしながら楽しんでいました。

五平餅づくり　－野の花宅老所－

丸め作業をしながら、「昔はよく作ったね」と昔話に花が咲きます。軽く焼いて、さんしょを沢山入れて作った味噌をつけていただきました。

新茶で旬のめぐみ　－麦の家－

新茶を摘みに出かけました。摘んだ葉からお茶を手作りして、旬の恵みをおいしく味わいました。

介護の職場を体験　－いわゆり荘－

中学校職場体験で２人がいわゆり荘にきてくれました。高齢者疑似体験、ベッドメイキング、特殊浴槽入浴などの体験や、お花植えなどをしていただきました。

夏のボランティア体験

ボランティア情報

いわゆり荘納涼祭

日　時　7月30日（木）　16:00～17:30

納涼祭にてお手伝いをしていただけるボランティアさんを大募集！利用者のみなさんと一緒に夏祭りを楽しみましょう。

◇申込み締切：7月24日（金）

越百園 夏祭り

日　時　7月25日（土）　17:15～19:45

利用者の方の見守りや、屋台への誘導、車椅子介助、屋台のお手伝い等をしていただける方を募集します。利用者の方と一緒に楽しい一時を過ごして下さい。軽食もでます(^_^)

※短時間だけの参加もＯＫです。

◇申込み締切：7月20日（月）

いなん100Km徒歩の旅

日　時　8月9日（日）　13:00～17:00

小学生の徒歩の旅を応援します。

夕食づくりをしていただける調理ボランティアさんを募集します。

◇申込み締切：7月31日（金）

園芸福祉体験『芝坊主づくり』

日　時　8月8日(土)　10:00～12:00

場　所　中川文化センター 創作室

講　師　駒ヶ根花と緑と水の会

参加費　500円（予定）

対　象　小、中学生

定　員　20名

※小学生は保護者同伴でお願いします。

※詳細は申し込み後にご案内させていただきます。

昨年に引き続き「駒ヶ根 花と緑と水の会」の方を講師にお招きし、園芸福祉について学びます。実際に土をさわり、芝の種をまき、みんなで楽しく『芝坊主』を作りましょう。

◇申込み締切：7月31日（金）

（定員になり次第、締め切らせていただきます。）

※お申込み・お問い合わせは、中川村社協　☎88－3552までお願いします。

ボランティア連絡協議会　交流旅行

５月29日に村内で活動しているボランティアさんの交流を目的に、木曽の奈良井宿や開田高原の木曽馬の里などを巡る旅行へ出かけました。

普段はなかなかお会いする機会のないボランティアさん達と、笑いの溢れる楽しいひとときを過ごすことができました。

エコキャップの収集について

これまで、中川村社会福祉協議会で回収したエコキャップはリサイクル業者に持ち込み、その収益金が「NPO法人エコキャップ推進協会」に納付されておりましたが、昨年からその収益金がワクチンとなっていなかったことが判明しました。

一連の騒動に伴い、今後は当社協で回収したエコキャップは右記の手順で処理することとなりました。

引き続き、エコキャップ収集活動へのご協力をお願いいたします。

《エコキャップがワクチンにかわるまでのフロー図》

中川村社会福祉協議会

↓

リサイクル業者 ㈱ウェイスト

↓ 売却益 ← 「エコキャップ推進協会」を通さず直接 JCV へ寄付されます。

JCV（NPO 法人世界の子どもにワクチンを日本委員会）

よろず伝言板

お知らせ

○結婚相談

相　談　日：毎月第１・３火曜日

相談時間：午後６時～午後８時

相談場所：在宅介護支援センター相談室

※秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

○心配ごと相談

相　談　日：毎月第１水曜日

相談時間：午前９時～午前11時

相談場所：在宅介護支援センター相談室

※行政相談員さんと一緒に相談を受けます。

土地問題、相続問題等何でもお一人で悩まずに、是非ご相談ください。

○日常生活用具の貸し出し

車椅子等福祉用具と福祉車輌を貸し出しています。

※詳しくは、中川村社会福祉協議会までお問い合わせください。

フルートを指導していただけるボランティアさんを募集しています。詳しくは、中川村社会福祉協議会までお問い合わせください。

寄附のお礼

次の皆様からご寄附をいただきました。ありがとうございました。

上伊那建設労働組合中川分会　様 …… 寄附金
上伊那地区南部更生保護女性の会　様 …… タオル40枚
匿　　名　様 …… お米30kg
匿　　名　様 …… 紙おむつ他介護用品

～いわゆり～

今年は七年に一度の善光寺御開帳がありました。

家族全員で出かけるという機会はなかなか持てずにいましたが、昨年父が他界したこともありご先祖様の供養にとそろって出かけました。

念願の回向柱の木肌に触れ、本堂で前立本尊に手を合わせると、父との絆、ご先祖様との縁が確かなものになったと感じ、自然と安堵の気持ちになりました。

家族、健康、仕事、友人・知人とのお付き合い、将来のことなどたくさんの祈りを受け止めてくれた気がして、心も体もすっと楽になった不思議な体験でもありました。

〝善光寺だけでは片参り〟といわれることもあり、飯田の元善光寺の御開帳にも出かけた私たち家族は、どれだけ信心深いのだろうと思い、ふっと笑みがこぼれました。

次の御開帳にも家族揃って出かけられますように、健康で仲良くありたいと願っています。

（大）

にこりんが行く ～第20巻～

発行　社会福祉法人　中川村社会福祉協議会
☎0265(88)3552　FAX(88)3553
Email:nakasha@bz03.plala.or.jp
URL http://nakagawas.jp
印刷　龍共印刷㈱